

第7次平取町総合計画 簡易版

令和8（2026）年度～令和17（2035）年度



一人ひとりが根に水をやり、みんなで平取町の未来を育てていく姿

これからの10年間、平取町をどんな町にしていくのか。

「第7次平取町総合計画」は、平取町の未来に向けた大切な道しるべです。

簡易版では、計画のポイントを、だれにでもわかりやすくまとめました。

自然、文化、産業、人のつながり。平取町の強みを活かしながら、安心して暮らし続けられる未来を、みんなで育てていきます。

「総合計画」は平取町の未来を考える、大切な計画です

第7次平取町総合計画は、これからの平取町がどのようなまちを目指し、どのような取組を進めていくのかをまとめた、町の最上位計画です。

人口減少や少子高齢化が進む中でも、平取町らしさを大切にしながら、安心して暮らし続けられるまちをつくるために策定しました。

この計画では、町民・議会・行政が目指す方向を共有し、分野ごとの施策を総合的・計画的に進めていきます。

期間は、令和8（2026）年度から令和17（2035）年度までの10年間で、基本計画の前半5年間（令和8（2026）年度～令和12（2030）年度）を前期計画、後半5年間（令和13（2031）年度～令和17（2035）年度）を後期計画とします。

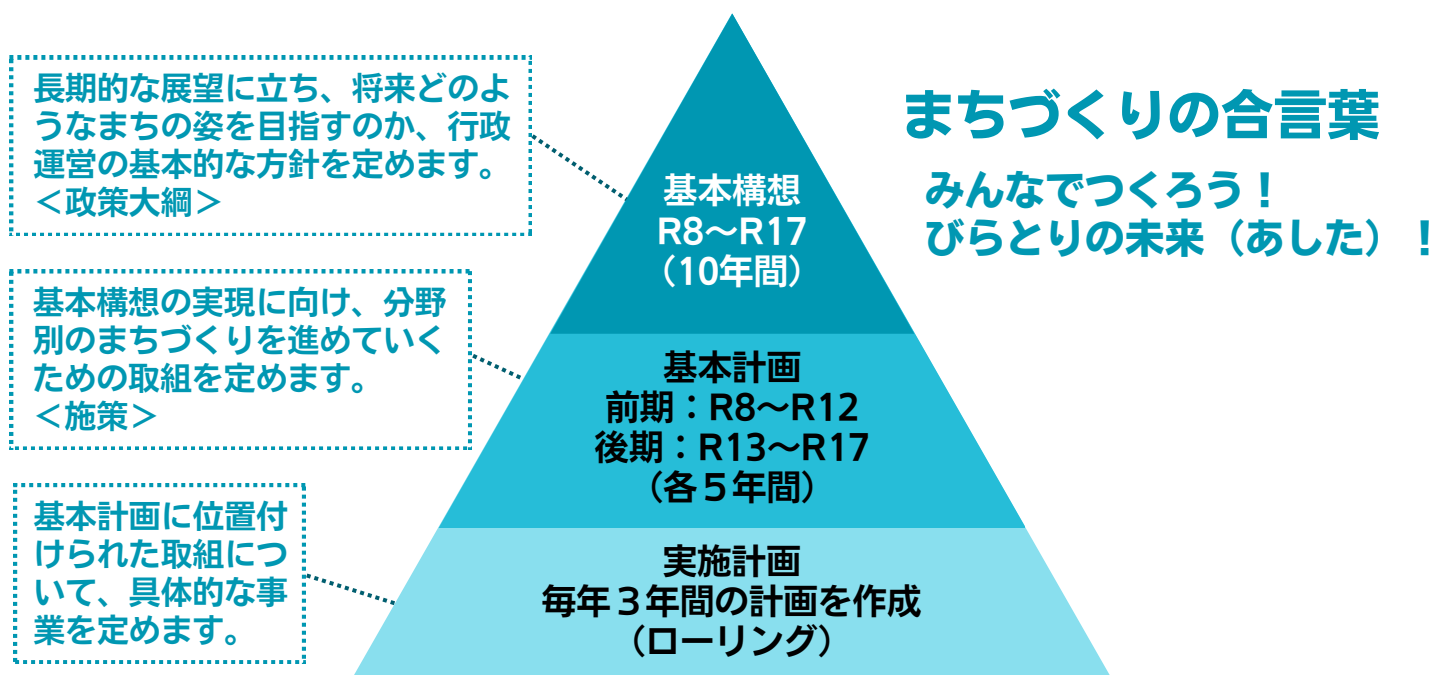
R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)	R15年度 (2033)	R16年度 (2034)	R17年度 (2035)
基本計画 10年間									
前期計画 5年間					後期計画 5年間				

● 計画の見直し

社会情勢の変化が激しい昨今の状況を踏まえれば、本計画が時代に適合しなくなる事態も想定され、新たな課題へも対応しなければならない可能性もあります。

町民の意思や要望及び議会での協議の結果、町政運営の方針転換、国・道の動向など、計画の変更や修正が必要と判断した場合は、計画の見直しを実施いたします。

計画体系概念図



平取町の今と、これからの課題

これからの平取町に必要なこと

平取町では、人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の担い手不足や、医療・福祉・交通・子育て・住まいなど、暮らしを支える仕組みの維持がますます大切になっています。

また、脱炭素社会への対応やデジタル化の進展など、時代の変化に合わせた新しい取組も必要になっています。

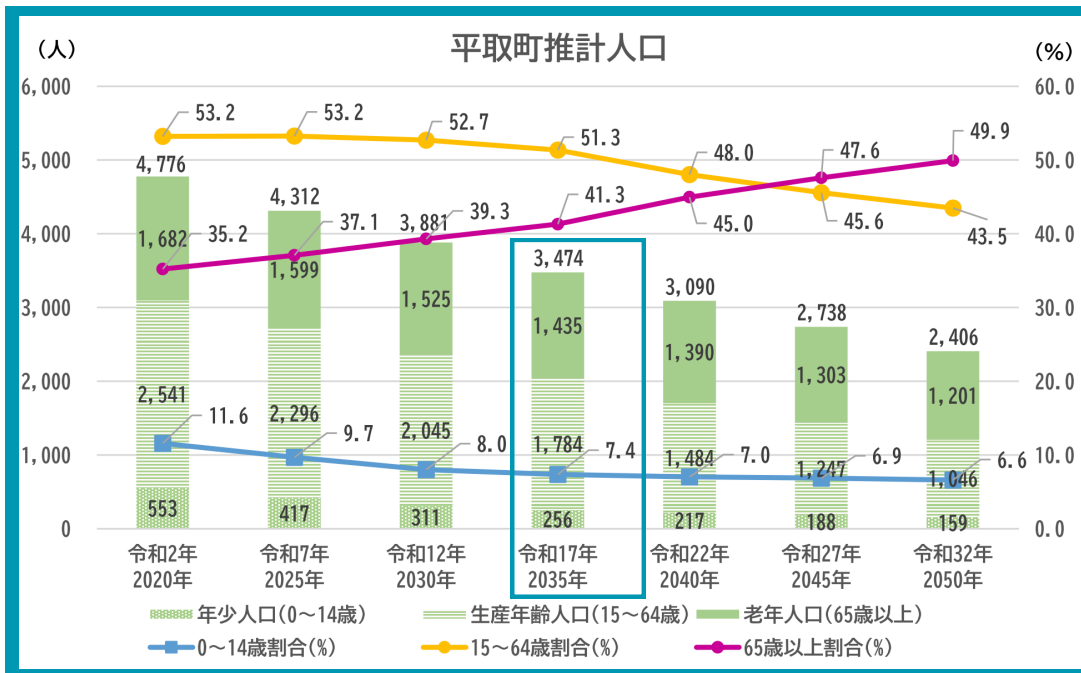
その一方で、平取町には、豊かな自然、アイヌ文化をはじめとした歴史と文化、農業や林業、びらとりトマトやびらとり和牛などの地域資源、人と人とのつながりといった、大きな強みがあります。

この計画は、そうした平取町らしさを活かしながら、これからも安心して暮らし続けられる町をつくるための計画です。

人口が減る時代でも、暮らしやすい町へ

人口減少は、すぐに止められるものではありません。

だからこそ、人数だけではなく、「この町で安心して暮らせるか」「住み続けたいと思えるか」が大切です。



(※令和2年の総人口は国勢調査より作成、令和7年以降は社人研推計値より作成。)

目標人口
令和17(2035)年
3,540人
(推計値3,474人)

令和17年度の目標人口を3,540人と決めました。推計値(3,474人)に留まることなく、一人ひとりが暮らし続けられる環境を整え、人口減少のスピードを緩めます。数字の向こう側にある、町民一人ひとりの豊かな暮らし。それがこの計画の本当のゴールです。

平取町が抱える主な課題

- 【交通・移動等】通勤・通学・通院・買い物を支える交通の確保
- 【医療・福祉】医療・福祉体制の維持と充実
- 【教育・子育て】高校の存続や教育環境の整備、子育てしやすい環境づくり
- 【雇用・産業振興】雇用の場の確保と産業の担い手不足への対応
- 【人口減少・地域コミュニティ】地域の担い手の不足、地域活動の参加者減少
- 【移住・定住・住宅】住宅不足や施設の老朽化への対応
- 【観光・文化】地域資源の活用と情報発信の強化

子どもから大人まで、たくさんの声をもとにまとめました

この計画は、行政だけでつくったものではありません。
町民アンケート、地域住民へのヒアリング、町長と地域との懇談会、高校生座談会、若者・若手職員ワークショップ、パブリックコメントなど、さまざまな方法で意見を聞きながら策定しました。

パブリックコメントでは、延べ14名の町民から31件の意見が寄せられました。
子どもから高齢者まで幅広い世代の声を受け止め、これからのまちづくりの方向性に反映しています。

アンケートなどで特に重視されたこと

地区別・年齢別の結果を見ると、「保健・医療・福祉が充実し安心して暮らせるまち」が多くの上位となりました。

また、地場産物を生かした加工製造業などが盛んなまち、農林業などの主要産業が盛んなまちも高く求められています。

● 年齢別

項目名（考えに近いものを3つまで選択）	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
①保健・医療・福祉が充実し安心して暮らせるまち	3位	1位	1位	1位	1位	1位
②事故や犯罪、災害、公害のない安全なまち	5位	5位	5位	6位	3位	4位
③地場産物を生かした加工製造業などが盛んなまち	1位	2位	2位	3位	5位	2位
④生活環境が整備され、景観の美しいまち	7位	6位	7位	8位	2位	3位
⑤農林業などの主要産業が盛んなまち	2位	3位	3位	2位	4位	5位
⑥歴史やアイヌ文化などを守り創造性豊かな教育文化のまち	8位	8位	9位	5位	7位	7位
⑦自然や歴史などを生かした観光のまち	9位	9位	8位	9位	8位	8位
⑧スポーツ・文化・地域活動が盛んなまち	6位	7位	6位	4位	9位	9位
⑨魅力ある商業活動が盛んなまち	4位	4位	4位	7位	6位	6位
⑩その他	10位	10位	10位	10位	10位	10位



保健・医療・福祉が充実し安心して暮らせるまち



農林業などの主要産業が盛んなまち



地場産物を生かした加工製造業などが盛んなまち

平取町の未来をつくる8つの柱

将来像の実現に向けて、平取町では、次の8つの基本目標に沿ってまちづくりを進めます。どれも、私たちの暮らしにつながる大切な柱です。

1 豊かな心を育むまちづくり

学校教育、社会教育、アイヌ文化、歴史・文化財を大切にし、学びと誇りを育みます。平取高校の教育環境支援や寮整備、ふるさと教育の充実などにも取り組みます。



2 健康で楽しく暮らせるまちづくり

健康づくり、地域医療、高齢者福祉、障がい者福祉、地域共生を進め、誰もが安心して暮らせる地域を目指します。近隣医療機関との連携や介護予防、生活支援の充実に取り組みます。



3 安心して子育てができるまちづくり

妊娠・出産から子育てまで切れ目なく支え、地域全体で子育てを応援します。保育、放課後児童、相談支援、療育体制の充実などを進めます。



4 活力を生むまちづくり

農業・林業・商工業・雇用を支え、地域経済の活性化を目指します。担い手確保、スマート農業、起業支援、企業誘致などに取り組みます。



5 地域資源を活かしたまちづくり

自然、食、アイヌ文化などの地域資源を活かし、観光の魅力を高めます。観光基盤の整備、体験型観光、SNS等による情報発信の強化を進めます。



6 環境に優しいまちづくり

脱炭素、循環型社会、自然環境、景観などを大切にし、環境と共生するまちを目指します。未来の世代につながる持続可能な地域づくりを進めます。



7 快適に暮らせるまちづくり

防犯、防災、消防、道路、交通、水道、住環境、土地利用など、暮らしの基盤を整えます。安全・安心で、便利に暮らせる環境づくりを進めます。



8 みんなで歩む協働のまちづくり

住民協働、コミュニティ、人権尊重、広報広聴、行財政運営、行政サービス・DXを進めます。町民と行政が力を合わせ、よりよいまちをつくりまします。



とくに注目したい主な取組

これからの10年で、特に力を入れる主な取組

8つの基本目標のもと、平取町では、暮らし・学び・産業・地域の魅力づくりを進めていきます。簡易版では、その中でも町民にとって特にイメージしやすい取組を紹介します。

☆ 高校の魅力化：全国から選ばれる「平取高校」へ

これまでの「町内の生徒への支援」に加え、「地域みらい留学」の取組によって、都会では体験できない平取ならではの学びを武器に、全国の志高い中学生に選ばれる学校を目指します。また、町外からの生徒を受け入れるために、「共生型高校生寮」を整備し、地域住民との交流も生まれる「開かれた寮」を目指します。

☆ 子育て支援：こども家庭センターが寄り添います

これまでの「経済的支援（手当など）」に加え、令和8年度からは「一人ひとりに寄り添う相談体制」を充実します。「こども家庭センター」の設置により、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない相談支援を行います。

☆ 観光の転換：地域資源を「稼ぐ力」に変える

平取町では、豊かな自然やアイヌ文化、特産品などの地域資源を活かし、特色ある「滞在・着地型観光」コンテンツの構築を進めます。総合的な観光案内の窓口・拠点の整備に取り組み、来訪者が安心して平取町の魅力を体感できる環境づくりを目指します。SNSなどの各種媒体や公式キャラクターを活用し、海外からの旅行者も含めた積極的なプロモーションを展開します。

総合計画は、策定して終わりではなく、実行し、見直しを重ねながら育てていく計画です。

計画本文、簡易版、概要版、小中学生向けの子ども版は、町ホームページからご覧いただけます（※裏表紙にQRコードを掲載しています）。

平取の未来は、みんなで作っていきます

この計画は、みんなが進める計画です

平取町の未来は、行政だけでつくるものではなく、町民、地域、事業者、団体、議会、行政が、それぞれの立場で力を合わせながら育てていくものです。

この簡易版でわかること

- 平取町がこれからの10年でめざす将来像
- 子育て、健康、仕事、交通、防災など、暮らしにつながる8つの柱
- 平取町らしさを活かしながら、みんなで作って未来をつくっていく考え方

これからの平取町へ

子どもたちが希望を持てる町に。若い世代が住みたい、戻ってきたいと思える町に。高齢になっても安心して暮らせる町に。
平取町は、これからもみんなで作って未来をつくっていきます。

第7次 平取町総合計画

令和8(2026)年度 ▶ 令和17(2035)年度

Biratori Town Master Plan

みんなで作ろう！
びらとりの未来（あした）！

防災情報・イベント案内等
もっと身近にもっと便利に

計画本編はこちら

平取町公式ホームページ



北海道平取町
令和8年3月

写真：幌尻(ポロシリ)岳

平取町公式LINE



問い合わせ先：平取町まちづくり課地域戦略係 TEL 01457-2-2222